

令和4年度第1回埼玉県秩父地域医療構想調整会議

議 事 概 要

1 日 時 令和4年8月9日（火）午後7時から午後8時まで

2 会 場 Zoomによるリモート開催

3 出席者

- (1) 委員 委員総数20名（出席19名、欠席1名）別添出席者名簿のとおり
- (2) 地域医療構想アドバイザー 1名
- (3) 事務局 保健医療政策課、医療整備課、秩父保健所職員
- (4) 傍聴者 4名

4 議題

- (1) 議事1 会長及び副会長の選出について
- (2) 議事2 令和4年度地域医療構想調整会議について
- (3) 議事3 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて
- (4) 報告1 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の明確化について
- (5) その他

5 議事内容

- (1) 議事1 会長及び副会長の選出について
 - ・司会から委員に、会長及び副会長の推薦を促したところ、委員から、会長に井上委員、副会長に森下委員はどうかとの推薦があった。司会が全委員に諮ったところ多数の承認があったため、会長を井上委員、副会長を森下委員とすることに決定した。
 - ・代表して井上会長からあいさつがあった。
- (2) 議事2 令和4年度地域医療構想調整会議について
 - ・資料1に基づき、保健医療政策課から、今後の地域医療構想調整会議のスケジュール及び主な予定協議事項について説明。
 - 【主な質疑・意見】なし
- (3) 議事3 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて
 - ・資料2-1、2-2、2-3、2-4、参考資料1に基づき、保健医療政策課から説明。
 - ・公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しの今後の進め方及びスケジュールを説明。令和4～5年度において、民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定・検証・見直しを行う。
 - ・非稼働病棟を有する医療機関については、新型コロナウイルス感染症第7波の対応を考慮しつつ調査を実施し、非稼働病棟の現状・今後の動向を調整会議で説明の上情報共有する。

【主な質疑・意見】

(島村委員)

- ・連携していくには3次(救急)の下にそこその病院がサテライト的にあり、経営できていければよいが、秩父地域は特殊で、市立病院が一番大きい、同規模の病院がいくつかあり、似かよったことをやっている。
- ・今後の秩父地域の医療を考えると、自院だけで考えるのではなく、公立病院にはこちらへんをやってほしい、こうして行ってほしいなどの意見を、県がイニシアチブをとって集約し、地域全体で、限られた医療資源を上手に使っていくことを考えていければいいのではと思う。

(井上会長)

- ・おっしゃるとおり、秩父には秩父独自の実情があり、県南地域とはかなり状況が異なる。保健所から、そういったことを県に進達してもらえるとありがたい。

(内田委員)

- ・島村委員のお話のとおりである。ちょうど先日、秩父市立病院と当院の院長、事務長で、今後どうしていくか話し合いを持ったところである。
- ・当院も秩父市立病院も古くなり、建物構造だけをとってもいろいろ考えないといけない。
- ・一つの病院だけで考える話では絶対ないと思っている。
- ・久喜前市長の時も地域医療連携推進法人の話も少し出たが、コロナになり進んでいない。
- ・皆さん思っていると思うが、秩父郡市全体を考えて公立病院でどうにかしろというのはなく、5年先10年先を考えると、公立病院だけで考える話ではなく、開業医や民間病院も合わせて、郡市全体でビジョンを考えていくべきである。地域医療構想調整会議でもそういったことを話し合っしてほしいと考えている。

(井上会長)

- ・秩父には他の地域のように、1つの病院ですべてをまかなえるような大規模な病院はない。秩父市立病院も小鹿野中央病院も、それぞれがそれぞれの役割を担っている状態。
- ・地域全体で考えて、地域全体が1つの総合病院になるような雰囲気を考えていければ、うまくいくのではないかと、かねがね考えている。
- ・この会でもそういったことを話し合っければと考える。

(4) 報告1 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の明確化について

- ・資料3、参考資料2に基づき保健医療政策課から説明。
- ・医療機関が外来医療に実施状況を報告し、地域の協議の場(地域医療構想調整会議)において、外来機能の明確化・連携に向けて必要な協議を行う。
- ・「医療資源を重点的に活用する外来」を地域で基幹的に行う医療機関(紹介受診重点医療機関)を明確化し、公表する。

【主な質疑・意見】なし

(井上会長)

- ・秩父地域には200床以上の病院はないが、県から周辺地域の情報もいただきたい。

(5) その他

- ・資料4、参考資料3に基づき、病院整備計画の公募について医療整備課から説明。
- ・昨年度、地域医療計画の中間見直しを行う中で、基準病床数の引き上げを行った。
- ・その結果、県内の6医療圏で1,763床の病床配分が可能となったので、病院整備計画の公募を行っている。

【主な質疑・意見】なし

(井上会長)

- ・地域医療構想アドバイザーの廣澤埼玉県医師会副会長に、全体を通じての御意見をいただきたい。

(廣澤地域医療構想アドバイザー)

- ・初めて秩父地域の地域医療構想調整会議に出席した。
- ・井上先生も言っているように、秩父には秩父の事情があるとよく言われている。
- ・再検証対象となった医療機関は、先ほど県からもあったが、病床の削減ありきではない。
- ・これまでの他県での再検証結果の報告でも、半分くらいはこれまでどおり又は地域の要望があるので現状どおりでよいということになっている。
- ・地域の医療提供体制を継続するにはどうあるべきかを地域ごとに議論して、結論を得ていただければと思う。
- ・秩父には公立病院が2つあるが、公立病院経営強化プランでは、地域での役割や隣接する圏域との連携を考えて議論していただければと思う。
- ・外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関は、主に地域支援病院を対象としている。秩父地域には該当する病院がないとのことだが、隣接地域との兼ね合いを考えて議論していただければと思う。
- ・今後も井上会長を中心に、秩父にあるべき医療を検討していただきたい。

(閉会)

以上